

指定管理者総合評価シート

(評価対象期間 令和2年4月1日～令和6年3月31日)

1 基本情報

施設名称	昭和の森
条例上の設置目的	都市公園法に基づく都市公園施設
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	・幅広い利用者層を誘致し、スケールの大きな自然の中で様々な活動や体験する場を提供するとともに、自然環境の保全に対する意識の普及・啓発を図る。 ・千葉市の豊かな自然環境とその中で育まれている多様な生き物を保全し、次代に引き継いでいく。 ・広大な芝生広場や豊かな山林など、公園の持つ資源を最大限活かして千葉市東部ににぎわいを創出し、千葉市の都市圏全体の発展に寄与する。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	①我が国を代表する公園の一つとして「日本の都市公園 100 選」にも選定されていることから、更に特徴を活かした魅力向上を図り、市内のみならず、多くの方に豊かな自然環境の中で休息・鑑賞・散策・レクリエーションなど様々な活動や体験ができる場を提供すること。 ②ゲンジボタルやカタクリなど貴重な生き物だけでなく、多様な生き物の生息・生育空間として機能するために、生息・生育環境に配慮した維持管理を行い、現在の自然環境をいつまでも守り続けていくこと。 ③自然環境保全に対する意識醸成のため、自然観察やボランティア活動などの機会を提供すること。
制度導入により見込まれる効果	本施設では、指定管理者制度導入により、利用者サービスの向上及び管理経費の削減の効果を見込んでいます。
指定管理者名	株式会社 塚原緑地研究所
構成団体 (共同事業体の場合)	
指定期間	令和2年4月1日～ 令和7年3月31日（5年）
所管課	都市局公園緑地部公園管理課、緑公園緑地事務所

2 成果指標等の推移

(1) 来園者数（成果指標1）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
実績値	405,313	501,445	513,565	500,515	1,920,838
数値目標※	406,000	406,000	406,000	406,000	1,624,000
達成率	99.8%	123.5%	126.5%	123.3%	118.3%

(2) 市からの受託事業（鯉のぼり展示を除く）参加者数（成果指標2）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計
実績値	655	2,498	2,745	3,556	9,454
数値目標※	3,200	3,200	3,200	3,300 (3,200)	12,900 (12,800)
達成率	20.5%	78.1%	85.8%	107.8% (111.1%)	73.3% (73.6%)

(3) 成果指標以外の利用状況を示す指標

指 標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	合計

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

3 収支状況の推移

				令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	合計
必須業務	収入	指定管理料	実績	71,111	64,106	64,465	64,821	264,503
			計画	63,245	64,106	64,465	64,821	256,637
		利用料金	実績	22,209	29,101	29,305	28,570	109,185
			計画	27,368	28,188	29,033	29,903	114,492
		その他	実績					0
			計画					0
		合　計	実績	93,320	93,207	93,770	93,391	373,688
			計画	90,613	92,294	93,498	94,724	371,129
		支　出	実績	92,475	91,798	96,943	102,276	383,492
			計画	90,613	92,294	93,498	94,724	371,129
収　支		実績	845	1,409	△ 3,173	△ 8,885	△ 9,804	
自主事業	収　入	実績	14,370	21,134	54,527	47,489	137,520	
		計画	24,070	24,500	21,100	82,100	151,770	
	支　出	実績	15,702	24,094	53,741	56,418	149,955	
		計画	24,912	24,436	20,755	80,233	150,336	
	収　支		実績	△ 1,332	△ 2,960	786	△ 8,929	△ 12,435
総収入		実績	107,690	114,341	148,297	140,880	511,208	
総支出		実績	108,177	115,892	150,684	158,694	533,447	
総収支		実績	△ 487	△ 1,551	△ 2,387	△ 17,814	△ 22,239	
利益の還元額		実績	なし	なし	なし	なし	なし	
利益還元の内容								

4 管理運営状況の総合評価

評価項目	評 価	評価の具体的内容・理由
1 成果指標の目標達成		
（１）来園者数406,000人/年の達成	A	コロナ禍により、屋外での活動が注目され、利用者は高水準で推移した。昭和の森マルシェの定期開催など、公園の活性化・魅力向上にも貢献した。
（２）市からの受託事業（鯉のぼり展示を除く）参加者数3,200人/年の達成	D	コロナ禍では、受託事業自体が中止になった。その後は、人数は増えているものの、基準に満たない回数の開催となるなどの問題もあった。
2 市の施設管理経費縮減への寄与	C	
3 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	C	指定管理期間を通して、安定性に欠ける管理となってしまった。責任者が毎年のように変わること、引継ぎが不十分になったことが原因と考えられる。
4 施設管理能力		
（１）人的組織体制の充実	C	指定管理初年度より継続して職員の安全教育を徹底して取り組んできたが、R5は物損事故を起こすなど、改めて安全管理の見直しが必要となった。
（２）施設の維持管理業務	C	初年度に、遊具点検が適切に行われなかった。その後、是正されたが、R5に日常点検・定期点検の記録が残っていないことが判明。また、指定管理者が行うべき100万以下の修繕について、年間予算を超えていることを理由に市に要望するなど、適切な管理がされていない。
5 施設の効用の発揮		
（１）幅広い施設利用の確保	B	初年度に、貸自転車の供用時間が条例と異なる運用をしていた。年末年始の駐車場対応、SNS等での情報発信などに取り組み、利用者の確保に積極的に取り組んだ。
（２）利用者サービスの充実	C	
（３）施設における事業の実施	C	受託事業の実施回数が、基準を下回ることがあった。コロナ禍で大規模イベントが中止になるなか、新たに自主事業（マルシェ開催、キッチンカー、恐竜王国など）を立ち上げ、公園の活性化に努めた。
6 その他 （市内業者の育成、市内雇用の配慮、障害者雇用の確保、施設職員の雇用の安定化への配慮）	C	

総合 評価	C
----------	---

【評価の内容】	
A：	事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
B：	事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待を上回る、優れた管理運営が行われていた。
C：	概ね事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待どおりに管理運営が行われていた。
D：	事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に満たない管理運営が行われていた。
E：	事業計画書等に定める水準や市の指定管理者に対する期待に、大きく満たない管理運営が行われていた。

5 総合評価を踏まえた検討

(1) 指定管理者制度導入効果の検証

	当初の見込みを上回る効果が達成できた。
○	当初見込んでいた効果が概ね達成できた。
	当初見込んでいた効果は達成できなかった。

(上記判断の理由や具体的内容・達成できなかった場合の原因)

指定管理者制度を導入した1期目であり、準備期間が短い中での管理開始であった。またコロナ禍で、従前から毎年開催されていた大規模イベントが中止になり、まだ再開されていないものもある。今も市と協力しながら、適切な制度運用を進めている段階である。 指定管理期間の前年に、台風によって公園内に大きな損傷があり、現在も完全に復旧されていない箇所もあるため、管理や修繕の責任分界点が不明瞭になってしまうなどの問題もあった。 1期目としては、指定管理者制度運用の問題点や課題を洗い出すことはできたため、効果は概ね達成できたと考えられる。

(2) 指定管理者制度運用における課題・問題点

市で一番大きな総合公園であり、指定管理者制度だけでは、適切に管理を行うことが難しい部分がある。また、適切な経費の確保ができない場合、維持管理水準の質低下に直結してしまうことが明らかとなった。 公園内施設や樹木等の更新が必要な時期に来ており、市と指定管理者の協力が必要な状況が続いているが、一方で責任分界点が曖昧になってしまうことも多い。十分な修繕費の確保が次期指定管理期間においても最重要課題となる。 コロナ禍で中断した大規模イベントもまだ再開されていないものもあり、指定管理者制度による管理運営を安定的に行うには、まだ時間を要すると思われる。

(3) 指定管理者制度継続の検討

○	指定管理者制度を継続する。
	施設管理手法の見直しを検討する。
	既に施設管理手法の見直しを決定している。

(4) 都市局指定管理者選定評価委員会の意見

(ア) 指定管理者制度を継続するにあたり、これまでの経緯や実績等を踏まえ、制度運用における課題・問題点を見直し、次期指定管理者選定に生かされたい。 (イ) 市で、適切な指定管理委託料の確保に努めていただきたい。また、指定管理者の提案で委託料が大幅に減額されることにより、管理水準の低下や、収支が赤字等に繋がることのないよう、審査基準を検討されたい。 (ウ) 市との密なコミュニケーションの実施や、責任者の交代による引継ぎの漏れ等がないよう募集要項等に記載することで、安定的な管理がされるように努められたい。
--